

エコパートナーシップうじたわら

設立20周年記念誌



うじたわらの木^もっくん

令和6年11月

エコパートナーシップうじたわら

目 次

ごあいさつ	エコパートナーシップうじたわら	会 長 芦原 昇	……………1
祝 辞	宇治田原町	町 長 西谷 信夫	……………2
	宇治田原町議会	議 長 原田 周一	……………3
エコパートナーシップうじたわらのあゆみ			
	設立までの経緯		……………4
	20年の活動記録年表		……………5
	歴代役員		……………27
20年間の活動を振り返って(運営委員寄稿・活動風景写真)……………28			
エコパートナーシップうじたわら会報誌(創刊号)……………33			
エコパートナーシップうじたわら規約……………35			

ごあいさつ

エコパートナーシップうじたわら

会長 芦 原 昇

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本日は、エコパートナーシップうじたわらの設立 20 周年記念集会にご参加いただき、ありがとうございます。

宇治田原町でエコパートナーシップが立ち上がり、20 年が過ぎました。一口で 20 年と言いますが、今回事務局がまとめてくれた 20 年のあゆみの冊子を手にし、驚きました。20 年間、ずいぶんいろいろな行事をこなしてきたことになります。重い資料であり、長い重い歴史を痛感しています。

最初はパートナーシップという概念が今一つわからず、とまどいがありましたが、月日を重ねるうちに、従来の行政と住民という構図では、対立するケースが多く、その中に事業者が入り、歩んできた歴史はそれぞれ違っても、環境という一点には、同一方向を向いて活動することがだんだん、会員さんにも認識され、今ではみんなが環境という一点にパートナーシップで集結していると、自負できるようになりました。

活動内容は、宇治田原町環境基本計画の実働部隊で、グローバルな面では気候変動から派生する地球温暖化防止への啓発活動だと考えています。20 年前と比べ、環境、特に温暖化もずいぶんと進んでいることを心配しています。節目の今年は特に高温が続き、本当に心配が絶えません。過去の経験則が全く役に立たない。一例を言いますと、僕は地域の子どもたちと芋掘りを行っていますが、今年は完全に撃沈されました。一つは例年の水やりでは、到底不足したこと。もう一つは、芋苗を覆うマルチが高温で何の役にも立たなかったことです。

来年以降はどうなるのでしょうか。今の活動では不十分ではとの心配が胸に去来します。

しかし、国内を見渡しても、選挙においても、環境が争点にもならない現実。また、総会でもお話しましたが、世界の SDG s では、一人の不幸な人を出さないと言いながら、戦争が絶えない現実。

自然災害を引き起こす自然には、人間の言葉は通じませんが、人間同士は言葉が通じるのです。それを放棄する性（さが）。

こういう時だからこそ、地に足をつけ、「第 3 期宇治田原町環境基本計画」の基本理念

- 1 脱炭素化に取り組むまち（温暖化対策）
- 2 ごみの削減に取り組むまち（循環型社会）
- 3 快適で暮らしやすいまち（生活環境）
- 4 豊かな自然と共生するまち（生物多様性）
- 5 とともに学び行動するまち（学習・協働）

を軸に、落ち着き、一つずつ宇治田原町の環境を良くしていくのが、20 周年を迎えたパートナーシップの使命。

応援よろしく！

2024 年 11 月吉日



祝 辞

宇治田原町
町 長
西 谷 信 夫

エコパートナーシップうじたわらが設立 20 周年を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げます。

本町においては、平成 16 年 3 月に住民・事業者・行政が一体となり、それぞれの立場でとるべき環境にやさしい行動指針となる「宇治田原町環境保全計画」を策定し、貴団体は、この計画を具体的に推進していく組織として、平成 16 年 11 月に設立されました。設立後は、町内の野生生物や地質などの調査研究、自然環境ハイキングやエコクッキングの開催、小・中学生等の環境学習への協力、会報誌の発行による環境に関する情報発信等を通して、宇治田原町の環境を保全するため、種々の活動にご尽力いただいてまいりました。

これもひとえに、会長様をはじめ会員の皆様方のご努力の賜物であり、ここに敬意と感謝を申し上げます。

さて、本町では令和 6 年 3 月に「第 3 期宇治田原町環境基本計画」を貴団体のご協力により、策定させていただくことができました。今後、計画に掲げる目指すべき環境像「環（わ）を尊び 人と自然が未来をつくる 茶ごろのまち 宇治田原」の実現に向け、地球温暖化対策やごみの削減、また豊かな自然と共生し、快適で暮らしやすいまちを目指して、さまざまな取組を推進してまいります。

しかしながら、複雑化・多様化する環境問題に対応するには行政だけではなく、住民や事業者の方々とともに取り組む必要があります。貴団体におかれましては、これまで以上に環境保全や地球温暖化防止に向けての取組にご尽力いただくとともに、町の環境施策にご助力いただきますようお願い申し上げます。

結びに、エコパートナーシップうじたわらの更なるご発展、並びに会員の皆様方の今後のますますのご活躍をご祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和 6 年 11 月吉日



祝 辞

宇治田原町議会

議 長

原 田 周 一

このたび、エコパートナーシップうじたわら様が設立 20 周年を迎えられましたことに、町議会を代表し心からお祝いを申し上げます。

貴会は、平成 16 年 11 月の設立以来、「住民・事業者・行政」による三者協働を理念に、本町の環境保全や地球温暖化防止の取り組みを力強く牽引してこられました。

この間の関係各位のご尽力に対し、心より敬意と感謝の意を表する次第です。

「住民の、住民による、住民のための環境づくり」を目指すという阪本伊三雄初代会長の言葉でスタートした会報は、今では 100 号を越えて、住民の皆様の広い共感を呼ぶところとなりました。

また、家庭の食卓から環境負荷の低減を考える「エコクッキング」や、豊かな自然に親しむ環境学習など、私たちの暮らしの中に新しい価値を組み込む実践的アプローチは、環境問題の解決に向けたメルクマールとして、地域の皆様の大きな支持を得られています。

今日の激しい気候変動や生物多様性の喪失をはじめとした深刻な環境問題は、自然環境への配慮を著しく欠いてきた人類の活動に起因するものであり、私たち一人ひとりの生活の在り方が厳しく問われています。

今年 3 月に策定された第 3 期宇治田原町環境基本計画は、「環を尊び 人と自然が未来をつくる 茶ごろのまち 宇治田原」を目指すべき環境像に掲げ、人と自然の調和・共存を図るべく、その取り組みが開始されたところです。

町議会といたしましても、ふるさとの豊かな自然環境を将来世代にしっかりと引き継いでいけるよう、持続可能な地域社会の構築を推進してまいりたいと考えておりますので、今後ともご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、エコパートナーシップうじたわら様の益々のご発展と、会員皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和 6 年 11 月吉日

エコパートナーシップうじたわらのあゆみ

●「エコパートナーシップうじたわら」設立までの経緯

2004年（平成16年）3月に、住民・事業者・行政が一体となり、それぞれの立場でとるべき環境にやさしい行動指針となる「宇治田原町環境保全計画」が策定され、この計画を具体的に推進していく組織として、「エコパートナーシップうじたわら」が設立されました。

(仮称)宇治田原環境保全懇話会設立準備委員会

【第1回】2004年（平成16年）6月25日

- ・規約、組織形態について
- ・会員の募集広告について

【第2回】2004年（平成16年）8月31日

- ・懇話会の取組について
【広報部会、循環型社会・地球温暖化防止部会、自然・生活環境部会】を設置
- ・懇話会の名称について

【第3回】部会ごとに開催

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 《循環型社会・地球温暖化防止部会》 | 2004年（平成16年）9月14日 |
| 《自然・生活環境部会》 | 2004年（平成16年）9月17日 |
| ・懇話会の取組（各部会で協議） | |

【第4回】2004年（平成16年）9月30日

- ・懇話会として取組
- ・規約、組織形態について

【第5回】2004年（平成16年）11月12日

- ・名称について 一般公募等により24候補から
『エコパートナーシップうじたわら』に決定
- ・役員（案）について 会長：阪本伊三雄氏、副会長：上田明男氏、
監事：森田木一氏、会計：須知和彦氏に決定
- ・設立総会について 2004年（平成16年）11月29日に設立総会開催決定

●エコパートナーシップうじたわら 活動記録年表

年 度	主 要 事 項	関 連 事 項
2004年度 (平成16年度)	11月29日 エコパートナーシップうじたわら 設立総会 阪本伊三雄会長、上田明男副会長、森田木一監事、 須知和彦会計が就任	参加者：約40名
	1月14日 会報誌（創刊号）発行	設立総会報告 生ごみセミナー開催告知他
	1月22日 循環型社会・地球温暖化防止部会 生ごみ減らし隊プロジェクトX 第1回生ごみセミナー 『コンポスト容器体験からみた生ごみリサイクル』 講師：芦原昇委員	参加者：約50名
	2月15日 会報誌（第2号）発行	セミナー報告、会員紹介 シンボルマークの募集他
	2月19日 【後援事業】環境生物フォーラム ～宇治田原町の豊かな自然と野生生物の世界～ 『里山の生き物たち』 特別講演：龍谷大学 好廣真一教授	参加者：約50名
	3月13日 清掃美化活動(南地区犬打川付近)	参加者：約40名
	3月16日 会報誌（第3号）発行	フォーラム報告、会員紹介 環境取組アイデア募集他
2005年度 (平成17年度)	4月27日 会報誌（第4号）発行	ハイキング募集、会員紹介 会員募集他
	5月21日 循環型社会・地球温暖化防止部会 生ごみ減らし隊プロジェクトX 『生ごみ懇話会（荒木）』	参加者：24名
	5月22日 自然・生活環境部会 第1回自然環境体験ハイキング(高尾地区散策)	参加者：13名
	7月14日 会報誌（第5号）発行	ハイキング報告、 シンボルマーク決定他
	7月23日 エコパートナーシップうじたわら 総会 シンボルマークの作者表彰状贈呈 作者：藤居 知弥さん（銘城台在住） 『地球温暖化防止と地域の役割について』 講演：龍谷大学 北川秀樹教授	参加者：29名
	9月21日 会報誌（第6号）発行	生ごみ懇話会開催告知他
	10月15日 循環型社会・地球温暖化防止部会 生ごみ減らし隊プロジェクトX 『生ごみ懇話会（郷之口）』	参加者：22名
	10月22日 循環型社会・地球温暖化防止部会 生ごみ減らし隊プロジェクトX 『生ごみ懇話会（南）』	参加者：18名
	10月26日 会報誌（臨時号）発行	イベント開催告知 (地球の学校・ハイキング他)

年 度	主 要 事 項	関 連 事 項
2005年度 (平成17年度)	11月6日 循環型社会・地球温暖化防止部会 生ごみ減らし隊プロジェクトX 『生ごみ懇話会（銘城台）』	参加者：23名
	11月10日 第1回 地球の学校 『地球温暖化ってなんだろう？』 講師：京都府地球温暖化防止活動推進センター 木原浩貴氏	参加者：17名
	11月13日 環境美化活動（田原川周辺）	参加者：46名 回収ごみ量：220kg
	11月26日 自然・生活環境部会 第2回自然環境体験ハイキング(奥山田地区散策)	参加者：20名
	12月10日 循環型社会・地球温暖化防止部会 生ごみ減らし隊プロジェクトX 『生ごみ懇話会（緑苑坂）①』	参加者：10名
	1月6日 会報誌（第7号）発行	イベント開催報告 シンボルマーク名称募集他
	1月12日 第2回 地球の学校 『温暖化防止！かしこい生活のコツ！』 講師：京都府地球温暖化防止活動推進センター 木原浩貴氏	参加者：13名
	2月4日 循環型社会・地球温暖化防止部会 生ごみ減らし隊プロジェクトX 『生ごみ懇話会（湯屋谷）』	参加者：24名
	2月10日 循環型社会・地球温暖化防止部会 生ごみ減らし隊プロジェクトX 『生ごみ懇話会（緑苑坂）②』	参加者：16名
	2月24日 循環型社会・地球温暖化防止部会 生ごみ減らし隊プロジェクトX 『生ごみ懇話会（禅定寺）』	参加者：20名
	2月25日 循環型社会・地球温暖化防止部会 生ごみ減らし隊プロジェクトX 『生ごみ懇話会（岩山）』	参加者：16名
	3月3日 循環型社会・地球温暖化防止部会 生ごみ減らし隊プロジェクトX 『生ごみ懇話会（奥山田）』	参加者：14名
	3月9日 第3回 地球の学校 『地域で取り組む温暖化対策』 講師：京都府地球温暖化防止活動推進センター 木原浩貴氏	参加者：24名
	3月17日 循環型社会・地球温暖化防止部会 生ごみ減らし隊プロジェクトX 『生ごみ懇話会（岩山区隠谷）』	参加者：8名
	3月18日 循環型社会・地球温暖化防止部会 生ごみ減らし隊プロジェクトX 『生ごみ懇話会（立川）』	参加者：15名
2006年度 (平成18年度)	5月12日 会報誌（第8号）発行	生ごみ懇話会開催報告、 総会開催告知他

年 度	主 要 事 項	関 連 事 項
2006年度 (平成18年度)	6月17日 エコパートナーシップうじたわら 総会 シンボルマークの名称考案者表彰状贈呈 考案者：佐藤 太一さん（京田辺市在住） 環境取組アイデア表彰状贈呈 応募者：上辻 容子さん（岩山在住） 『パートナーシップと環境の関わり』 講演：城南衛生管理組合 芦原昇企画参事	参加者：48名
	6月30日 会報誌（第9号）発行	総会開催報告 ハイキング開催告知他
	7月16日 自然・生活環境部会 第3回自然環境体験ハイキング （南地区「龍王の瀧」方面散策）	参加者：26名
	8月6日 環境美化活動（維中前バス停裏手の田原川周辺）	参加者：10名 回収ごみ量：220kg
	8月11日 会報誌（第10号）発行	ハイキング開催報告 会員紹介他
	10月21日 会報誌（第11号）発行	STOP！地球温暖化コラム 環境美化活動等開催告知他
	10月22日 環境美化活動（田原川周辺）	参加者：25名 回収ごみ量：80kg
	11月12日 自然・生活環境部会 第4回自然環境体験ハイキング（立川地区散策）	参加者：18名
	11月22日 会報誌（第12号）発行	環境美化活動等開催報告 STOP！地球温暖化コラム他
	12月6日 循環型社会・地球温暖化防止部会 視察研修（あいとうエコプラザ菜の花館 他）	参加者：17名
	1月24日 会報誌（第13号）発行	省エネゲーム開催告知 脱温暖化行動コラム他
	2月28日 施設見学会（会員対象） 城南衛生管理組合 クリーン21長谷山	参加者：25名
	3月8日 循環型社会・地球温暖化防止部会 『省エネゲーム～これぞ究極の地球温暖化防止法～』 講師：京都府地球温暖化防止活動推進センター 木原浩貴氏	参加者：33名
	3月10日 会報誌（第14号）発行	施設見学報告 省エネ一口メモ他
	3月28日 会報誌（第15号）発行	省エネゲーム開催報告 環境関係映画紹介他
2007年度 (平成19年度)	5月17日 会報誌（第16号）発行	エコパートナーシップの 意義とは？他
	6月13日 会報誌（第17号）発行	総会開催告知他

年 度	主 要 事 項	関 連 事 項
2007年度 (平成19年度)	6月23日 エコパートナーシップうじたわら 総会 『エコパートナーシップの発展的展開について』 講演：同志社大学大学院 新川達郎教授	参加者：28名
	7月13日 会報誌（第18号）発行	総会開催報告他
	7月28日 自然・生活環境部会 みんなでうじたわらの田んぼビオトープ	参加者：22名
	8月4日 会報誌（第19号）発行	エコクッキング開催告知他
	8月19日 自然・生活環境部会 みんなでうじたわらの田んぼビオトープ	参加者：26名
	8月25日 循環型社会・地球温暖化防止部会 第1回エコクッキング ～台所から生ごみを出さない食べ方の工夫～ 講師：力石幸氏	参加者：32名
	10月10日 会報誌（第20号）発行	エコクッキング開催報告・ ハイキング開催告知他
	11月23日 自然・生活環境部会 第5回自然環境体験ハイキング(禅定寺地区散策)	参加者：20名
	11月24日 自然・生活環境部会 みんなでうじたわらの田んぼビオトープ	参加者：21名
	11月25日 循環型社会・地球温暖化防止部会 第2回エコクッキング ～おせち料理アラカルト～ 講師：力石幸氏	参加者：23名
	12月6日 会報誌（第21号）発行	ハイキング開催報告・ エコクッキング開催報告他
2008年度 (平成20年度)	3月6日 会報誌（第22号）発行	家庭のできる温暖化防止 特集他
	5月23日 会報誌（第23号）発行	エコパートナーシップの 意義とは？他
	6月14日 会報誌（第24号）発行	総会開催告知他
	6月20日 自然・生活環境部会 ホタル学習会（田原川堤）	参加者：47名
	6月21日 エコパートナーシップうじたわら 総会 『地球温暖化防止の家庭省エネのネタ！』 講演：特定非営利活動法人京都地球温暖化防止府民会議 木原浩貴氏	参加者：29名
	7月11日 会報誌（第25号）発行	総会開催報告他
	7月19日 自然・生活環境部会 田原川の生き物たちと環境学習 田原川（岩山地区）	参加者：36名

年 度	主 要 事 項	関 連 事 項
2008年度 (平成20年度)	10月1日 循環型社会・地球温暖化防止部会 マイバッグ・キャンペーン【10月は3R推進月間】	
	10月18日 自然・生活環境部会 山の学習【どんぐりの森づくり】 (御林山～糠塚地区)	参加者：32名
	10月18日 会報誌（第26号）発行	わたしのエコ行動募集・ ハイキング開催告知他
	11月30日 自然・生活環境部会 第6回自然環境体験ハイキング(立川大導寺地区散策)	参加者：26名
	1月17日 自然・生活環境部会 冬の野鳥観察と赤米・黒米を使った春の七草粥を味わう (総合文化センター～大宮神社【荒木地区】)	参加者：32名
	1月25日 会報誌（第27号）発行	わたしのエコ行動宣言・ ハイキング開催報告他
	【運営委員会における年度中の活動】 「宇治田原町環境保全計画」の中間見直し 「宇治田原町環境保全計画」（改訂版）の策定	
2009年度 (平成21年度)	4月24日 循環型社会・地球温暖化防止部会 工場視察【㈱レボインターナショナル 京都工場】	参加者：5名
	5月16日 自然・生活環境部会 田んぼビオトープと里山観察 (宇治田原小学校～奥浄戸)	参加者：32名
	5月29日 循環型社会・地球温暖化防止部会 緑のカーテン普及活動（田原小学校）	
	6月12日 会報誌（第28号）発行	総会開催告知他
	6月20日 エコパートナーシップうじたわら 総会 『南区リサイクルセンターについて』 事例報告：南区長 垣内太平氏 『BDF（バイオ燃料）について』 講演：㈱レボインターナショナル 上森英孝氏	参加者：29名
	6月20日 自然・生活環境部会 ホタル学習会（田原川堤）	参加者：43名
	7月15日 会報誌（第29号）発行	総会開催報告他
	8月4日 自然・生活環境部会 田原川の生き物たちと環境学習(岩山地区)	参加者：36名
	10月24日 自然・生活環境部会 山の学習【どんぐりの森づくり】 (末山・くつわ池自然公園)	参加者：40名
	10月30日 会報誌（第30号）発行	ハイキング開催告知他

年 度	主 要 事 項	関 連 事 項
2009年度 (平成21年度)	11月6日 循環型社会・地球温暖化防止部会 環境学習（エコカー）への取組（田原小学校）	参加者：48名
	11月15日 自然・生活環境部会 自然環境体験ハイキング【野鳥観察】 （三宮神社～糠塚の里山）	参加者：33名
	11月22日 自然・生活環境部会 第7回自然環境と生活環境ハイキング（岩山地区散策）	参加者：28名
	1月16日 自然・生活環境部会 やさしい文化財のはなしと 野草の天ぷらと赤米の弥生粥づくり （総合文化センター～大宮神社【荒木地区】）	参加者：27名
	2月5日 会報誌（第31号）発行	エコキャップ運動・ ハイキング開催報告他
	【年度中の活動】 「みんなで取り組むエコキャップ運動」の推進	
2010年度 (平成22年度)	6月13日 会報誌（第32号）発行	総会開催告知他
	6月19日 循環型社会・地球温暖化防止部会 緑のカーテン普及活動（町立保育所）	
	6月19日 自然・生活環境部会 ホタル学習会（田原川堤）	参加者：28名
	6月27日 エコパートナーシップうじたわら 総会 『太陽光発電について』 講演：NPO法人気候ネットワーク 豊田陽介氏	参加者：24名
	8月4日 自然・生活環境部会 田んぼと田原川の生き物たち	参加者：31名
	8月15日 会報誌（第33号）発行	総会開催報告他
	10月24日 自然・生活環境部会 山の学習【どんぐりの森づくり】 （末山・くつわ池自然公園）	参加者：43名
	10月25日 会報誌（第34号）発行	生ごみの処理について他
	12月19日 会報誌（第35号）発行	ハイキング開催告知他
	1月15日 自然・生活環境部会 野鳥観察と文化財のはなし・古代食	参加者：28名
	1月30日 自然・生活環境部会 第8回自然環境体験ハイキング（湯屋谷地区～遍照院散策）	参加者：22名
	2月13日 会報誌（第36号）発行	ハイキング開催報告 エコキャップ引取報告他
	2月15日 循環型社会・地球温暖化防止部会 生ごみ堆肥化施設視察【榎水口テクノス】	参加者：7名

年 度	主 要 事 項	関 連 事 項
2010年度 (平成22年度)	3月2日～7日 自然・生活環境部会 自然景観・歴史・生活環境写真展 (総合文化センター)	
	3月31日 会報誌(第37号)発行	写真展開催報告 エコクッキング開催告知他
	【年度中の活動】 「みんなで取り組むエコキャップ運動」の推進	
2011年度 (平成23年度)	4月17日 循環型社会・地球温暖化防止部会 エコクッキング教室(春)	参加者:20名
	6月13日 会報誌(第38号)発行	総会開催告知・ エコクッキング教室報告他
	6月18日 自然・生活環境部会 ホタル学習会(田原川堤)	参加者:28名
	6月26日 エコパートナーシップうじたわら 総会 『ゴミの不法投棄と土壌汚染』 講演:㈱ユニチカ環境技術センター 関西事業所 加洲教雄氏	参加者:30名
	7月17日 会報誌(第39号)発行	総会開催報告他
	8月4日 自然・生活環境部会 田原川の生き物たち(旧役場裏の田原川)	参加者:27名
	10月2日 会報誌(第40号)発行	ハイキング開催告知他
	10月23日 自然・生活環境部会 山の学習【どんぐりの森づくり】 (末山・くつわ池自然公園)	参加者:33名
	11月13日 自然・生活環境部会 第9回自然環境体験ハイキング(旧役場～南地区散策)	参加者:22名
	11月20日 広報部会 【出前講座】「これからのエコライフ」 銘城台自治会館	参加者:15名
	12月4日 会報誌(第41号)発行	ハイキング開催報告・ エコクッキング開催告知他
	1月21日 自然・生活環境部会 やさしい文化財のお話と早春の食べ物	参加者:23名
	1月22日 循環型社会・地球温暖化防止部会 エコクッキング教室(冬)	参加者:20名
	1月29日 会報誌(第42号)発行	省エネ普及セミナー開催 案内他
	2月4日 省エネ普及セミナー 講師:環境保全ネットワーク京都	参加者:15名
	3月31日 会報誌(第43号)発行	エコクッキング開催告知他

年 度	主 要 事 項	関 連 事 項
2011年度 (平成23年度)	【年度中の活動】 「みんなで取り組むエコキャップ運動」の推進	
2012年度 (平成24年度)	4月22日 循環型社会・地球温暖化防止部会 エコクッキング教室（春）	参加者：20名
	6月3日 会報誌（第44号）発行	総会開催告知・ エコクッキング教室報告他
	6月18日 自然・生活環境部会 ホタル学習会（田原川堤）	雨天中止
	6月26日 エコパートナーシップうじたわら 総会 『日本縦断徒歩の旅～やって得する 省エネ術を訴えて～』 講演：省エネアドバイザー 金澤良彦氏	参加者：41名
	7月29日 会報誌（第45号）発行	総会開催報告他
	8月2日 自然・生活環境部会 田原川の生き物たち（ふれあい橋付近）	参加者：32名
	10月14日 会報誌（第46号）発行	ハイキング開催告知他
	10月20日 自然・生活環境部会 山の学習【どんぐりの森づくり】 （末山・くつわ池自然公園）	参加者：21名
	10月21日 ふるさとまつり 展示ブース（薪ストーブ）	
	10月24日 広報部会 【出前講座】「身近な環境問題について」 平岡公民館	参加者：20名
	11月12日 循環型社会・地球温暖化防止部会 環境学習（エコカー体験）【田原小学校】	参加者：田原小5年生
	1月13日 会報誌（第47号）発行	エコクッキング開催告知他
	2月24日 循環型社会・地球温暖化防止部会 エコクッキング教室（冬）	参加者：12名
	3月3日 会報誌（第48号）発行	ハイキング開催告知他
	3月17日 自然・生活環境部会 第10回自然環境体験ハイキング （高尾地区～荒木地区散策）	参加者：42名
	3月23日 自然・生活環境部会 野鳥観察会（総合文化センター～旧役場周辺）	参加者：9名
	【年度中の活動】 「みんなで取り組むエコキャップ運動」の推進	
2013年度 (平成25年度)	6月2日 会報誌（第49号）発行	総会開催告知・ ハイキング報告他

年 度	主 要 事 項	関 連 事 項
2013年度 (平成25年度)	6月16日 エコパートナーシップうじたわら 総会 『電気自動車の歴史と将来展望』 講演：京都EV開発㈱ 岡田実氏	参加者：35名
	6月22日 自然・生活環境部会 ホタル学習会（田原川堤）	参加者：52名
	7月12日 埼玉県川島町議会議員行政視察 川島町議会議員(7名)	
	7月14日 会報誌（第50号）発行	総会開催報告・ エコクッキング開催告知他
	7月28日 循環型社会・地球温暖化防止部会 エコクッキング教室	参加者：19名
	7月31日 自然・生活環境部会 水辺の生き物調査（旧役場裏田原川）	参加者：18名 読売テレビ取材
	8月3日 自然・生活環境部会 ふるさとの川探検隊（旧役場裏田原川）	参加者：16名
	10月6日 会報誌（第51号）発行	ハイキング開催告知・ ふるさとまつり出展他
	10月20日 ふるさとまつり 展示ブース（薪ストーブ）	
	10月27日 自然・生活環境部会 山の学習【どんぐりの森づくり】 （末山・くつわ池自然公園）	参加者：24名
	11月4日 循環型社会・地球温暖化防止部会 環境学習（エコカー体験）【田原小学校】	参加者：田原小5年生
	11月17日 自然・生活環境部会 第11回自然環境体験ハイキング （荒木地区～立川地区散策）	参加者：26名
	12月1日 会報誌（第52号）発行	ハイキング開催報告・ エコクッキング開催告知他
	12月15日 循環型社会・地球温暖化防止部会 エコクッキング教室	参加者：12名
	2月1日 自然・生活環境部会 野鳥観察と文化財のはなし	参加者：10名
2014年度 (平成26年度)	【年度中の活動】 5・6・9・10・11月 自然・生活環境部会 残しておきたい樹木調査 「みんなで取り組むエコキャップ運動」の推進	
	4月13日 会報誌（第53号）発行	プラマーク分別回収スタート・ エコクッキング開催告知他
	4月27日 循環型社会・地球温暖化防止部会 エコクッキング教室	参加者：11名

年 度	主 要 事 項	関 連 事 項
2014年度 (平成26年度)	6月21日 自然・生活環境部会 ホタル学習会（田原川堤）	参加者：28名
	6月22日 会報誌（第54号）発行	総会開催告知・ エコッキング開催告知他
	7月6日 エコパートナーシップうじたわら 総会 『自分自身と子どもや孫のためにできる地球温暖化対策』 講演：京都府地球温暖化防止活動推進センター 木原浩貴氏	参加者：32名
	7月27日 循環型社会・地球温暖化防止部会 エコッキング教室	参加者：15名
	8月3日 自然・生活環境部会 田原川の生き物調査（旧役場裏田原川）	参加者：26名
	8月17日 自然・生活環境部会 東北ふくしまっ子を迎えて田原川の水と遊ぶ （ふくしまっ子in宇治田原プロジェクト）	参加者：16名
	8月24日 会報誌（第55号）発行	総会開催報告・ エコッキング開催報告他
	8月30日 自然・生活環境部会 自然と生活環境を考える琵琶湖探検ツアー	参加者：32名
	10月8日 自然・生活環境部会 大気的环境を考える 皆既月食観察会 （まるやま交流館・宇治田原小）	参加者：23名
	10月12日 会報誌（第56号）発行	ハイキング開催告知・ ふるさとまつり出展他
	10月19日 ふるさとまつり 展示ブース（薪ストーブ）	
	11月16日 自然・生活環境部会 第12回自然環境体験ハイキング （禅定寺～隠谷地区散策）	参加者：27名
	12月7日 循環型社会・地球温暖化防止部会 エコッキング教室	参加者：16名
	2月7日 自然・生活環境部会 冬の野鳥観察と化石の調査会	参加者：13名
	3月29日 会報誌（第57号）発行	エコッキング開催告知・ 出前講座募集他
2015年度 (平成27年度)	【年度中の活動】 5・6月 自然・生活環境部会 残しておきたい樹木調査 「みんなで取り組むエコキャップ運動」の推進	
	4月19日 循環型社会・地球温暖化防止部会 エコッキング教室	参加者：15名
	4月24日 事業所訪問【須河車体㈱】 自然エネルギーの利用や工場内部の状況を視察	参加者：4名

年 度	主 要 事 項	関 連 事 項
2015年度 (平成27年度)	6月7日 会報誌（第58号）発行	総会、環境学習会開催告知・事業所訪問報告他
	6月13日 自然・生活環境部会 ホタル学習会（田原川堤）	参加者：74名
	6月21日 エコパートナーシップうじたわら 総会 『なぜプラマーク製品の分別が必要なの？』 講演：京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 山川肇教授	参加者：28名
	7月29日 自然・生活環境部会 ふるさとの川探検隊（旧役場裏田原川）	参加者：11名
	8月8日 自然・生活環境部会 星空観察会（まるやま交流館・宇治田原小）	参加者：9名
	8月10日 自然・生活環境部会 ふるさとの歴史と自然・生活環境を訪ねて	参加者：12名
	8月23日 会報誌（第59号）発行	総会開催報告・ハイキング開催案内他
	10月13日 施設見学【城南衛生管理組合 リサイクルセンター長谷山】 プラマーク容器包装の分別作業を視察	参加者：9名
	10月18日 ふるさとまつり 展示ブース（省エネ診断・薪ストーブ展示など）	
	11月1日 会報誌（第60号）発行	ハイキング開催告知・施設見学報告他
	11月17日 広報部会 エコパートナーFacebookページ作成	
	11月28日 自然・生活環境部会 ふるさと自然環境体験ハイキング（南地区散策）	参加者：30名
	12月5日 循環型社会・地球温暖化防止部会 エコクッキング教室	参加者：10名
	1月23日 自然・生活環境部会 冬の野鳥観察と化石の調査	参加者：8名
	3月27日 会報誌（第61号）発行	ごみの量・Facebookページ作成 会員募集他
	【年度中の活動】 5・8月 自然・生活環境部会 残しておきたい樹木調査 「みんなで取り組むエコキャップ運動」の推進	
2016年度 (平成28年度)	4月16日 夏原グラント助成事業 助成金 目録贈呈式・交流会	参加者：2名
	4月28日 自然・生活環境部会 野生生物調査（岩山・奥山田地区）	参加者：2名
	5月2日 自然・生活環境部会 自然観察と文化財をたずねて	宇治田原小遠足 参加者：70名（1・2年生）

年 度	主 要 事 項	関 連 事 項
2016年度 (平成28年度)	5月14日 自然・生活環境部会 自然環境と農作業体験を通じて考える【種まき】 (ゆうゆうらいふin宇治田原小)	参加者：約50名
	5月28日 自然・生活環境部会 自然観用と農作業体験を通じて考える【植え付け】 (ゆうゆうらいふin宇治田原小)	参加者：約50名
	6月5日 会報誌（第62号）発行	総会開催告知・ 夏原グラント助成金交付他
	6月11日 自然・生活環境部会 ホタル学習会（田原川堤）	参加者：58名
	6月12日 エコパートナーシップうじたわら 総会 『環境マネジメントシステムと生物多様性について』 講演：K E S 環境機構 津村昭夫専務理事	参加者：32名
	7月7日 自然・生活環境部会 大福茶園造成に伴う生物観察会	宇治田原小学校 参加者：63名（5年生）
	7月16日 自然・生活環境部会 自然環境と農作業体験を通じて考える【草ひき】 (ゆうゆうらいふin宇治田原小)	参加者：約50名
	7月17日 会報誌（第63号）発行	エコクッキング開催告知・ 総会報告他
	7月23日 循環型社会・地球温暖化防止部会 エコクッキング教室	参加者：16名
	7月27日 自然・生活環境部会 ふるさとの川探検隊（旧役場裏田原川）	参加者：26名
	8月3日 自然・生活環境部会 岩山・長山の自然と文化財をたずねて (サマースクール事業)	参加者：18名
	8月9日 循環型社会・地球温暖化防止部会 環境紙芝居	参加者：町立保育所年長児
	8月12日 自然・生活環境部会 夏の星空観察会（まるやま交流館・宇治田原小）	参加者：40名
	8月21日 自然・生活環境部会 田原川の自然と魚すくい (サマースクール事業)	参加者：40名
	10月9日 会報誌（第64号）発行	ハイキング開催告知・ ふるさとまつり出展他
	10月16日 ふるさとまつり 展示ブース（省エネ診断・薪ストーブなど）	
	10月30日 自然・生活環境部会 自然環境と農作業体験を通じて考える【収穫】 (ゆうゆうらいふin宇治田原小)	参加者：約50名
	11月13日 自然・生活環境部会 ふるさと自然環境体験ハイキング(御林山)	参加者：38名

年 度	主 要 事 項	関 連 事 項
2016年度 (平成28年度)	11月27日 会報誌（第65号）発行	エコクッキング開催告知・ ハイキング開催報告他
	12月3日 循環型社会・地球温暖化防止部会 エコクッキング教室	参加者：15名
	1月6日 自然・生活環境部会 冬の星空観察会（総合文化センター）	参加者：17名
	1月15日 会報誌（第66号）発行	環境学習開催告知・ 環境関連補助制度紹介他
	1月22日 自然・生活環境部会 冬の野鳥と化石調査	参加者：22名
	3月20日 夏原グラント助成事業 プレゼンテーション	参加者：3名
	【年度中の活動】 5・10月 自然・生活環境部会 残しておきたい樹木調査 「みんなで取り組むエコキャップ運動」の推進 エコパートナーFacebookページ投稿	
	【夏原グラント助成事業】 『協働によるふるさとの自然環境 保全を図るための基礎資料調査』 「宇治田原町レッドデータブック」の発行後、10年以上経過し、 町内の自然環境をとりまく状況も変化しており、特に重点的に 保全を図るべきと考えられる地域を中心に調査活動を実施。	
2017年度 (平成29年度)	4月15日 夏原グラント助成事業 助成金 目録贈呈式・交流会	参加者：3名
	4月16日 会報誌（第67号）発行	総会開催告知・ エコクッキング開催告知他
	4月23日 循環型社会・地球温暖化防止部会 エコクッキング教室	参加者：18名
	5月2日 自然・生活環境部会 宇治田原小遠足（禅定寺地区）	参加者：143名（1・2年生）
	5月10日 自然・生活環境部会 大福茶園造成地植物移植作業	参加者：8名
	5月13日 自然・生活環境部会 自然環境と農作業体験を通じて考える【種まき】 （ゆうゆうらいふin宇治田原小）	参加者：約50名
	5月23日 自然・生活環境部会 宇治田原小茶摘み	参加者：約260名
	5月27日 自然・生活環境部会 自然観用と農作業体験を通じて考える【植え付け】 （ゆうゆうらいふin宇治田原小）	参加者：約50名
	6月11日 会報誌（第68号）発行	総会開催告知・ 夏原グラント助成金贈呈式他
	6月16日 自然・生活環境部会 ホタル観察会（田原川堤）	参加者：30名

年 度	主 要 事 項	関 連 事 項
2017年度 (平成29年度)	6月17日 自然・生活環境部会 田んぼの学校（奥山田地区） （茶ッピー未来基金）	参加者：58名
	6月18日 エコパートナーシップうじたわら 総会 『健康で自然・サイフに優しい省エネの知恵』 講演：城陽パートナーシップ会議 小林駿運営委員	参加者：38名
	6月24日 自然・生活環境部会 ホタル学習観察会（宇治田原小横田原川）	参加者：23名
	7月4日 自然・生活環境部会 野生生物調査（隠谷地区等）	参加者：2名
	7月15日 自然・生活環境部会 自然環境と農作業体験を通じて考える【草ひき】 （ゆうゆうらいふin宇治田原小）	参加者：約50名
	7月17日 循環型社会・地球温暖化防止部会 エコクッキング教室	参加者：21名
	7月29日 自然・生活環境部会 夏の星座と土星の観察会と大気の状況学習 （まるやま交流館・宇治田原小）	参加者：42名
	7月31日 自然・生活環境部会 ふるさと川の探検隊（旧役場裏田原川）	参加者：26名
	8月2日 自然・生活環境部会 町の自然と文化財をたずねて（荒木地区） （サマースクール事業）	参加者：21名
	8月2日 自然・生活環境部会 田原川の魚などの学習 （サマースクール事業）	参加者：50名
	8月3日 循環型社会・地球温暖化防止部会 環境紙芝居	参加者：町立保育所年長児
	8月3日 循環型社会・地球温暖化防止部会 環境紙芝居 （茶ッピー未来基金）	
	8月4日 自然・生活環境部会 昆虫たちの世界大発見（岩山隠谷～禅定寺奥城土地区）	参加者：10名
	9月9日 自然・生活環境部会 田んぼの学校（奥山田地区） （茶ッピー未来基金）	参加者：58名
	9月22日 自然・生活環境部会 野生生物調査（荒木地区）	参加者：2名
	10月9日 会報誌（第69号）発行	ハイキング開催告知・ ふるさとまつり出展他
	10月15日 ふるさとまつり 展示ブース（省エネ診断・薪ストーブなど）	
	10月28日 自然・生活環境部会 自然環境と農作業体験を通じて考える【収穫】 （ゆうゆうらいふin宇治田原小）	参加者：約50名

年 度	主 要 事 項	関 連 事 項
2017年度 (平成29年度)	11月4日 自然・生活環境部会 芋名月と秋の七草会	参加者：8名
	11月12日 自然・生活環境部会 ふるさと自然環境体験ハイキング(立川～湯屋谷地区)	参加者：15名
	11月26日 会報誌(第70号)発行	エコクッキング開催告知・ ハイキング開催報告他
	12月2日 循環型社会・地球温暖化防止部会 エコクッキング教室	参加者：16名
	12月7日 事業所訪問【濱田プレス工藝㈱】 環境保全への取組、工場内部の状況を視察	参加者：4名
	1月31日 自然・生活環境部会 皆既月食と節分の話	参加者：14名
	2月25日 会報誌(第71号)発行	環境学習開催告知・ 事業者訪問報告他
	3月3日 自然・生活環境部会 春の生き物たちと文化財	参加者：8名
	【年度中の活動】 「みんなで取り組むエコキャップ運動」の推進 エコパートナーFacebookページ投稿	
2018年度 (平成30年度)	【夏原グラント助成事業】 『協働によるふるさとの自然環境 保全を図るための基礎資料調査』 「宇治田原町レッドデータブック」の発行後、10年以上経過し、 町内の自然環境をとりまく状況も変化しており、特に重点的に 保全を図るべきと考えられる地域を中心に調査活動を実施。	
	4月14日 夏原グラント助成事業 助成金 目録贈呈式・交流会	参加者：3名
	5月12日・5月26日・7月14日・10月27日 自然・生活環境部会 休耕田でひまわり・サツマイモ作り (ゆうゆうらいふin宇治田原小)	参加者：延べ180名
	6月10日 会報誌(第72号)発行	総会開催告知・ 夏原グラント事業協力依頼他
	6月16日 自然・生活環境部会 ホタル観察会(田原川堤)	雨天中止
	6月16日 自然・生活環境部会 ホタル学習(宇治田原小横田原川) (ゆうゆうらいふin宇治田原小・岩山東地区事業)	参加者：11名
	6月17日 エコパートナーシップうじたわら 総会 『地球温暖化対策と豊かな暮らし』 講演：京都府地球温暖化防止活動推進センター 川手光春氏	参加者：28名
	7月15日 会報誌(第73号)発行	総会開催報告・ ハイキング開催告知他

年 度	主 要 事 項	関 連 事 項
2018年度 (平成30年度)	7月21日 自然・生活環境部会 夏の星空観察(まるやま交流館・宇治田原小) (ゆうゆうらいふin宇治田原小・岩山東地区事業)	参加者:19名
	7月22日 循環型社会・地球温暖化防止部会 エコクッキング教室	参加者:11名
	7月27日 自然・生活環境部会 ふるさとの川探検隊(旧役場裏田原川)	猛暑のため中止
	8月3日 自然・生活環境部会 森の昆虫探検隊(宇治田原小茶園～立川大導寺地区) (ゆうゆうらいふin宇治田原小・岩山東地区事業)	参加者:7名
	8月10日 循環型社会・地球温暖化防止部会 環境紙芝居	参加者:町立保育所年長児
	8月10日 自然・生活環境部会 ペルセウス座流星群(まるやま交流館・宇治田原小) (ゆうゆうらいふin宇治田原小・岩山東地区事業)	参加者:13名
	8月19日 自然・生活環境部会 田原川の生き物たち (ゆうゆうらいふin宇治田原小・岩山東地区事業)	参加者:19名
	8月21日 自然・生活環境部会 夏から秋へ移りゆく星座(まるやま交流館・宇治田原小) (ゆうゆうらいふin宇治田原小・岩山東地区事業)	参加者:10名
	10月7日 会報誌(第74号)発行	ハイキング開催告知・ ふるさとまつり出展他
	10月14日 ふるさとまつり 展示ブース(省エネ診断・薪ストーブ展示など)	
	11月11日 自然・生活環境部会 ふるさと自然環境体験ハイキング(岩山地区)	参加者:7名
	11月25日 会報誌(第75号)発行	エコクッキング開催告知・ ハイキング開催報告他
	12月1日 循環型社会・地球温暖化防止部会 エコクッキング教室	参加者:17名
	1月6日 自然・生活環境部会 部分日食の観測会 (ゆうゆうらいふin宇治田原小・岩山東地区事業)	参加者:6名
	3月9日 自然・生活環境部会 奥山田の化石と文化財	参加者:17名
	【年度中の活動】 「みんなで取り組むエコキャップ運動」の推進 エコパートナーFacebookページ投稿	
	【夏原グラント助成事業】 『協働によるふるさとの自然環境保全を図るための基礎資料調査』 「宇治田原町レッドデータブック」の発行後、10年以上経過し、 町内の自然環境をとりまく状況も変化しており、特に重点的に 保全を図るべきと考えられる地域を中心に調査活動を実施。 2016年度(平成28年度)から3カ年の調査結果を成果物として とりまとめ、冊子「宇治田原町の自然環境」を発行した。	

年 度	主 要 事 項	関 連 事 項
2019年度 (平成31・令和元年度)	4月20日 循環型社会・地球温暖化防止部会 エコクッキング教室	参加者：6名
	5月11日 自然・生活環境部会 ひまわりの種まきとひまわりの話	参加者：99名
	5月14日 自然・生活環境部会 茶摘みと「なぜ八十八夜ごろなの？」のはなし	参加者：241名
	5月25日 自然・生活環境部会 サツマイモの苗とひまわりの定植・芋の仲間の話	参加者：71名
	6月2日 会報誌（第76号）発行	総会開催告知・ 「宇治田原町の自然環境」発行他
	6月9日 エコパートナーシップうじたわら 総会 「夏原グラント助成金事業の成果について」 報告：エコパートナーシップうじたわら事務局 『宇治田原町の自然環境』 講演：エコパートナーシップうじたわら 阪本伊三雄副会長	参加者：27名
	6月22日 自然・生活環境部会 蛍の話と観察会（宇治田原小横田原川）	参加者：19名
	7月13日 自然・生活環境部会 宇治田原小友愛ファームの草刈りと畑の生き物たち	参加者：63名
	7月21日 会報誌（第77号）発行	エコクッキング開催告知・ 芦原会長寄稿他
	7月22日 自然・生活環境部会 夏の星座観察会（まるやま交流館・宇治田原小）	参加者：26名
	7月27日 循環型社会・地球温暖化防止部会 エコクッキング教室	参加者：12名
	7月30日 自然・生活環境部会 大型天体望遠鏡による星座観察(宇治天体機材)	参加者：54名
	8月5日 自然・生活環境部会 ふるさとの自然と文化財をたずねて(立川大導寺地区) (サマースクール事業)	参加者：11名
	8月12日 自然・生活環境部会 月と土星の大接近とペルセウス座流星群の観察会 (宇治田原小)	参加者：11名
	8月21日 自然・生活環境部会 小学生夏休み自由研究「植物と昆虫の共生など」	参加者：16名
	9月21日 自然・生活環境部会 ふるさとの川探検隊（旧役場裏田原川）	雨天中止
	10月19日 自然・生活環境部会 サツマイモの収穫祭と秋の自然体感	参加者：84名
	10月27日 会報誌（第78号）発行	ハイキング開催告知・ ふるさとまつり出展他

年 度	主 要 事 項	関 連 事 項
2019年度 (平成31・令和元年度)	11月3日 ふるさとまつり 展示ブース（省エネ診断・町内の自然環境のパネル展示）	
	11月17日 自然・生活環境部会 ふるさと自然環境体験ハイキング(立川・御林山)	参加者：9名
	11月29日 自然・生活環境部会 秋から冬への星座と月・金・木・土星の大集合	参加者：13名
	12月1日 会報誌（第79号）発行	エコクッキング開催告知・ ハイキング開催報告他
	12月8日 循環型社会・地球温暖化防止部会 エコクッキング教室	参加者：9名
	12月26日 自然・生活環境部会 部分日食(40%欠け)の観察会	参加者：10名
	2月1日 自然・生活環境部会 鬼さんとお豆さんのはなし(今と昔)	参加者：8名
	3月8日 自然・生活環境部会 奥山田の化石と文化財	新型コロナウイルスの影響で 中止
	3月29日 会報誌（第80号）発行	新型コロナウイルスの影響による 事業の中止他
	【年度中の活動】 「みんなで取り組むエコキャップ運動」の推進 エコパートナーFacebookページ投稿	
2020年度 (令和2年度)	循環型社会・地球温暖化防止部会 エコクッキング教室	新型コロナウイルスの影響により 不開催
	5月5日 自然・生活環境部会 摘み草ヨモギ団子・柏餅づくり	参加者：8名
	6月20日 自然・生活環境部会 ホタルの話と観察会（宇治田原小横田原川）	参加者：11名
	6月 エコパートナーシップうじたわら 総会（書面決議） 特別寄稿：「生物資源と民俗誌」 エコパートナーシップうじたわら 阪本伊三雄副会長	新型コロナウイルスの影響により 不開催
	8月8日 自然・生活環境部会 夏の星座観察会・月と火星の接近・夏の三角 人の生活と大気の話(宇治田原小)	参加者：12名
	8月23日 会報誌（第81号）発行	総会の書面開催報告・ 今年度の活動計画について他
	9月20日 自然・生活環境部会 田んぼの神様 佐保姫さまを送る会(お汁粉)	参加者：7名
	11月7日 自然・生活環境部会 田んぼの神様 竜田姫さまを迎える会(ぜんざい)	参加者：10名
	ふるさとまつり	新型コロナウイルスの影響により 不開催

年 度	主 要 事 項	関 連 事 項
2020年度 (令和2年度)	自然・生活環境部会 ふるさと自然環境体験ハイキング	新型コロナウイルスの影響により 不開催
	12月20日 会報誌（第82号）発行	会員寄稿 (美しい宇治田原の秋他)
	1月3日 自然・生活環境部会 お正月さまがござった(七草がゆ)	参加者：9名
	1月23日 会報誌（第83号）発行	復習：プラマークの出し方 芦原会長寄稿(環境雑感)
	3月14日 自然・生活環境部会 春の野生生物調査(岩山～立川～荒木他)	参加者：1名
	3月19日 自然・生活環境部会 月と火星、おうし座アルデバランの会合観察	参加者：10名
	3月20日 会報誌（第84号）発行	エコクッキングのすすめ 芦原会長寄稿(人生の選択)
	【年度中の活動】 「みんなで取り組むエコキャップ運動」の推進	
2021年度 (令和3年度)	循環型社会・地球温暖化防止部会 エコクッキング教室	新型コロナウイルスの影響により 不開催
	5月5日 自然・生活環境部会 柏餅づくりと立夏のお話	参加者：8名
	6月 エコパートナーシップうじたわら 総会（書面決議） 特別寄稿：気象環境「雷さまの民俗学」 エコパートナーシップうじたわら 阪本伊三雄副会長	新型コロナウイルスの影響により 不開催
	7月26日 自然・生活環境部会 夏の昆虫調査探検(宇治田原小茶園～大道寺)	参加者：5名
	7月27日 自然・生活環境部会 カブトムシ他昆虫類調べ	参加者：7名
	7月31日 自然・生活環境部会 セミの仲間の羽化調べ	参加者：5名
	8月1日 会報誌（第85号）発行	総会の書面開催報告・ 活動計画と運営委員について他
	8月2日 自然・生活環境部会 セミ類の抜け殻調べと採集	参加者：6名
	8月22日 自然・生活環境部会 夏の星座と天体観察会(宇治田原小グラウンド)	参加者：14名
	9月18日 自然・生活環境部会 中秋の名月と民俗学的行事	参加者：6名
	10月3日 会報誌（第86号）発行	宇治田原町の自然環境 他
	10月24日 自然・生活環境部会 宇治田原小学校区の文化財をたずねて	参加者：5名

年 度	主 要 事 項	関 連 事 項
2021年度 (令和3年度)	11月6日 自然・生活環境部会 滝田姫さまを迎える	参加者：7名
	自然・生活環境部会 ふるさと自然環境体験ハイキング	新型コロナウイルスの影響により 不開催
	11月19日 自然・生活環境部会 部分月食(98%欠け)の観察会	参加者：6名
	11月27日 自然・生活環境部会 秋から冬への星座観察会	参加者：6名
	12月1日 会報誌(第87号)発行	自然の価値・再エネ由来電力 への切り替え 他
	12月7日 自然・生活環境部会 月と三惑星の大集合観察会	参加者：4名
	2月1日 会報誌(第88号)発行	宇治田原町の企業に勤めて 他
	3月1日 会報誌(第89号)発行	自然に対する人間の責任 他
	【年度中の活動】 5月9日・6月6日・7月26日・27日・8月1日・11日・9月16日・24日 10月2日・16日・11月14日・3月21日 自然・生活環境部会 町内の野生生物調査(岩山・禅定寺・湯屋谷・立川・荒木) 「みんなで取り組むエコキャップ運動」の推進 侵略的外来植物対策や危険生物に関する情報提供	参加者：運営委員含む数名
2022年度 (令和4年度)	5月5日 自然・生活環境部会 柏餅作りと立夏のはなし	参加者：10名
	5月17日 自然・生活環境部会 宇治田原小茶摘み	参加者：3・4年生児童と教員
	5月21日 自然・生活環境部会 宇治田原小校庭の樹木調べ	参加者：3名
	6月1日 会報誌(第90号)発行	総会開催告知・ 再出発他
	6月18日 自然・生活環境部会 ホタル観察会(宇治田原小横田原川)	参加者：12名
	6月19日 エコパートナーシップうじたわら 総会 『ボトルtoボトル事業について』 講師：城南衛生管理組合 エコポート長谷山 別所尚紀氏	参加者：26名
	6月25日 自然・生活環境部会 サツマイモ定植 (ゆうゆうらいふin宇治田原小)	参加者：60名
	7月23日 自然・生活環境部会 夏の星座観察会(隠谷広場)	参加者：9名
	7月28日 自然・生活環境部会 カブトムシやクワガタムシの生活観察と採集 (隠谷～大道寺)	参加者：6名

年 度	主 要 事 項	関 連 事 項
2022年度 (令和4年度)	8月1日 会報誌（第91号）発行	総会開催報告・ ボトルtoボトル事業について他
	8月13日 自然・生活環境部会 ペルセウス座流星群と秋の星座観察会(隠谷広場)	参加者：8名
	8月19日 自然・生活環境部会 セミ類の抜け殻と鳴き声を楽しむ	参加者：5名
	9月10日 自然・生活環境部会 中秋の名月鑑賞と秋の七草のはなし	参加者：7名
	10月1日 会報誌（第92号）発行	秋の自然観察会開催告知・ 毒きのこへの注意点他
	10月29日 自然・生活環境部会 秋の自然観察会(末山・くつわ池自然公園)	参加者：13名
	12月1日 会報誌（第93号）発行	秋の自然観察会開催報告・ 冬の節電対策他
	3月1日 会報誌（第94号）発行	田原川のいきものたち 他
	【年度中の活動】 「みんなで取り組むエコキャップ運動」の推進	
2023年度 (令和5年度)	4月24日 自然・生活環境部会 春の野生生物調査(宇治田原小茶園～大道寺)	参加者：3名
	5月20日 自然・生活環境部会 宇治田原小校庭の樹木調べ	参加者：10名
	5月21日 会報誌（第95号）発行	総会開催告知・ 会員コラム他
	5月23日 自然・生活環境部会 宇治田原小校外学習(湯屋谷地区)	参加者：67名（1・2年生）
	6月4日 エコパートナーシップうじたわら 総会 『見通せない電気代を見通す ～気候危機と エネルギー危機の中での身近な取組～』 講演：京都府地球温暖化防止活動推進センター 木原浩貴氏	参加者：40名
	6月10日 自然・生活環境部会 梅雨時期の野生生物調査(岩山地区)	参加者：1名
	6月17日 自然・生活環境部会 ホタル観察会（宇治田原小横田原川）	参加者：8名
	7月22日 自然・生活環境部会 夏の星座と大気の話と観測(隠谷広場)	参加者：5名
	8月1日 会報誌（第96号）発行	総会開催報告・ 家庭のできる省エネ術他
	8月10日 自然・生活環境部会 セミ類の抜け殻と鳴き声調査	参加者：4名

年 度	主 要 事 項	関 連 事 項
2023年度 (令和5年度)	8月25日 自然・生活環境部会 田原川の水棲生物調査（田原川中流2点）	参加者：1名
	9月9日 自然・生活環境部会 初秋の野生生物調査(岩山～立川地区)	参加者：1名
	9月29日 自然・生活環境部会 中秋の名月と秋の七草の話	参加者：6名
	10月1日 会報誌（第97号）発行	秋の自然観察会開催告知・ 住民交流会開催告知他
	10月15日 エコパートナー・住民交流会 ワークショップ 「宇治田原町の魅力、特色を生かした環境の取組とは！」 講師：龍谷大学名誉教授 北川秀樹氏	参加者：15名
	10月28日 自然・生活環境部会 秋の自然観察会(役場～御林山)	参加者：16名
	11月25日 自然・生活環境部会 宇治田原小学校・秋の色づく木の実探検 (宇治田原小～長山～禅定寺)	参加者：32名(5年生)
	12月1日 会報誌（第98号）発行	秋の自然観察会開催報告・ 会員コラム他
	1月5日 自然・生活環境部会 越冬する昆虫のまゆ・虫えい探し	参加者：5名
	1月7日 自然・生活環境部会 七草粥と新年を祝う	参加者：7名
	2月2日 自然・生活環境部会 冬の赤・紅・橙色の実を探そう	参加者：39名
	2月3日 自然・生活環境部会 節分と鬼とお豆さんの話	参加者：6名
	【年度中の活動】 第3期宇治田原町環境基本計画策定委員会への参加 「みんなで取り組むエコキャップ運動」の推進	
2024年度 (令和6年度)	4月1日 会報誌（第99号）発行	今年設立20周年を迎えます 他
	5月1日 会報誌（第100号）発行	総会開催告知・ うじたわら生物調査隊員募集他
	6月10日 エコパートナーシップうじたわら 総会 講師：兵庫県立大学大学院 大藪崇司 准教授 『緑化による環境保全の実践 ～日本とケニアでの事例～』	参加者：40名
	【年度中の活動】 毎月第4土曜日 自然・生活環境部会 うじたわら生物調査隊（御林山）	

エコパートナーシップうじたわら 役員の変遷

設立

	H16(2004)	H17(2005)	H18(2006)	H19(2007)	H20(2008)	H21(2009)	H22(2010) H23(2011)	H24(2012)	H25(2013) H26(2014)
会 長	阪本 伊三雄	阪本 伊三雄	阪本 伊三雄	阪本 伊三雄	阪本 伊三雄	阪本 伊三雄	阪本 伊三雄	芦原 昇	芦原 昇
副会長	上田 明男	上田 明男	臼谷 吉彦	臼谷 吉彦	芦原 昇	芦原 昇	芦原 昇	阪本 伊三雄	阪本 伊三雄
//					羽賀 卓司	羽賀 卓司	羽賀 卓司	羽賀 卓司	羽賀 卓司
監 事	森田 木一	森田 木一	森田 木一	森田 木一	森田 木一	森田 木一	森田 木一	森田 木一	森田 木一
会 計	須知 和彦	須知 和彦	須知 和彦	須知 和彦	須知 和彦	須知 和彦	須知 和彦		
運営委員								須知 和彦	須知 和彦
//	前田 憲一	前田 憲一	前田 憲一	前田 憲一	前田 憲一	前田 憲一	大川 吉平	山中 茂治	山中 茂治
//	播磨 余土行	播磨 余土行	播磨 余土行	播磨 余土行	馬場 義博	今西 良明	今西 良明	今西 良明	今西 良明
//	長屋 英幸	長屋 英幸	長屋 英幸	長屋 英幸	長屋 英幸				
//	山下 貢	山下 貢	山下 貢	山下 貢	山下 貢	山下 貢	山下 貢	西谷 有由	西谷 有由
//		羽賀 卓司	羽賀 卓司	羽賀 卓司					
//	新谷 博	新谷 博	新谷 博	新谷 博	新谷 博	新谷 博	新谷 博	新谷 博	新谷 博
//	武光 八重子	武光 八重子	武光 八重子	武光 八重子	武光 八重子	武光 八重子	武光 八重子	武光 八重子	武光 八重子
//	芦原 昇	芦原 昇	芦原 昇	芦原 昇					
//	並木 秀和	並木 秀和	並木 秀和	並木 秀和					
//					西谷 栄治	西谷 栄治	西谷 栄治	西谷 栄治	西谷 栄治
//	安井 徳昭	安井 徳昭	安井 徳昭	安井 徳昭					
//	中田 博美	中田 博美	中田 博美						
//			田和 弘子	田和 弘子	田和 弘子	田和 弘子	田和 弘子	田和 弘子	田和 弘子
//			山室 みち子	山室 みち子	山室 みち子	山室 みち子	山室 みち子	山室 みち子	山室 みち子
//	岩瀬 剛二	岩瀬 剛二	岩瀬 剛二						
//	大谷 芳亨	大谷 芳亨	廣島 綾子	廣島 綾子					
//	臼谷 吉彦	臼谷 吉彦	西村 勝美						
//	山本 喜平次	谷村 富啓	中辻 正	谷村 富啓	大江 輝博	大江 輝博	三好 茂一	三好 茂一	青山 公紀

	H27(2015)	H28(2016) H29(2017) H30(2018)	H31・ R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
会 長	芦原 昇	芦原 昇	芦原 昇	芦原 昇	芦原 昇	芦原 昇	芦原 昇	芦原 昇
副会長	阪本 伊三雄	阪本 伊三雄	阪本 伊三雄	阪本 伊三雄	阪本 伊三雄	阪本 伊三雄	岩瀬 剛二	岩瀬 剛二
//	羽賀 卓司	羽賀 卓司	羽賀 卓司					
監 事	森田 木一	森田 木一	森田 木一	森田 木一	森田 木一	森田 木一	森田 木一	森田 木一
会 計								
運営委員	須知 和彦	須知 和彦	須知 和彦	須知 和彦	須知 和彦		阪本 伊三雄	阪本 伊三雄
//	山中 茂治	山中 茂治	浅田 豊春	浅田 豊春	浅田 豊春			
//	本田 忠資	本田 忠資	本田 忠資	本田 忠資	藤本 英樹	藤本 英樹	藤本 英樹	梶村 浩
//	西谷 有由	西谷 有由	西谷 有由	西谷 有由	西谷 有由	西谷 有由	西谷 有由	西谷 有由
//				村林 利高	村林 利高	村林 利高	村林 利高	村林 利高
//	新谷 博	新谷 博	新谷 博	新谷 博	新谷 博	新谷 博	新谷 博	
//	武光 八重子	武光 八重子	武光 八重子	武光 八重子	武光 八重子	武光 八重子	武光 八重子	武光 八重子
//	西谷 栄治	西谷 栄治			岩瀬 剛二	岩瀬 剛二	林 恵子	林 恵子
//	田和 弘子				※岩瀬氏復帰		※新谷氏逝去	羽賀 卓司
//	山室 みち子				設立時メンバー		設立時メンバー	
//	三好 茂一	垣内 清文	谷出 智	谷出 智	谷出 智	谷出 智	谷出 智	中村 浩二

農業委員

商工会役員

工業団地

須河車体

事務局

設立から 20 年間の活動を振り返って

芦原 昇（会長、広報部会長）

やはり思い出すのは、2004年の総会。半年後に急逝した愛妻も参加してくれていたのも、目を閉じればその時の様子が今でも浮かびあがる。

イベントでは、生ごみ減らし隊として、各地域を行脚したのは楽しかった。

その他、初代会長の阪本さんの計らいで、立川親水公園での自然の中でのクッキング。

娘の長男が普段あまり食べないのに、その日はパクパク。文化センターまでの帰り道、今は御林山探索で、みんなに遅れまいと必死だが、この時は疲れた孫をおぶって帰ったのがなつかしい。その孫が、今は自分の背たけをはるか追い越し、僕を見下ろしている。

20年の歴史は長い。



岩瀬 剛二（副会長、自然・生活環境部会長）

エコパートナーシップうじたわらには、創設後約1年間運営委員として在籍した後、鳥取、東京（八王子）と合わせて約15年間不在にしていました。その間、おそらく様々な出来事が起こっていたであろうことは想像できますが、残念ながら体験しておりません。その後、コロナ禍真っ只中の2021年4月に宇治田原町に戻り、総会後に運営委員に復帰しました。創設時は現役で働いていたこともあり、活動に十分な時間を割くことはできませんでしたが、復帰後は時間の許す限り活動に参加してきました。長らく会長を務めておられた阪本伊三雄さんが体調を考慮して退かれたため、わたしは、自然・生活環境部会長、さらには副会長として、芦原会長を補佐しつつ活動の場を広げることになりました。

また、2024年4月からは生物多様性保全地域戦略における重要課題の一つとして、「うじたわら生物調査隊」を組織し、そのリーダーとして毎月1回の御林山での生物調査も行ってきました。2023～4年にかけての地球温暖化問題の具現化に対する対策の立案、ごみ減量化や生物多様性保全の推進などを含む宇治田原町環境基本計画の策定とその実行化等、宇治田原町の環境関連行政を補完する役割として「エコパートナーシップうじたわら」の重要性はますます大きくなってきているように思われます。私自身も徐々にではありますが、年齢による身体の衰えを感じつつある今日この頃、30周年に向けて、できるだけ多くの住民の皆さんとともに、楽しみながら活動を続けていけたらなあ…と密かに願っております。



森田 木一（監事）

エコパートナーシップうじたわらの設立当時、私は町議会議員として、活動に参加しており、21世紀の宇治田原の自然環境をどのように守っていくのか、真剣に取り組んでまいりました。

現在、新名神高速道路の建設が進められていくなか、完成すれば車両等の町内への交通量の増加等、様々な問題が出てくると思います。

そのなか、どのように自然豊かな住みよい環境を守っていくか、エコパートナーシップうじたわらの使命と役割は、大変重い責任と感じております。

次の30周年に向けて、みんなの知恵を出し合い、協力して、自然豊かな宇治田原の環境を守っていきたい。生涯がんばりましょう！



阪本 伊三雄（運営委員）

「エコパートナーシップうじたわら」が創設される準備期間の1997年（平成9年）12月には、世界の首脳が出席され、京都国際会館において、COP-3で「京都議定書」が採択されました。ノーベル平和賞を受けられたアフリカのワンガリ・マータイさんが、「モットイナイ!」のコトバを、日本人の精神文化として、高く世界に上げられました。

2003年（平成15年）10月に、京都府地球温暖化防止推進センターが設立され、そして宇治田原町では、環境問題の課題を総合的に考察し、科学的に運営をしていくために、住民・事業者・行政が一体となり、「第1期宇治田原町環境保全計画」が策定され、その推進と運営に取り組む組織として、「エコパートナーシップうじたわら」が、2004年（平成16年）11月に誕生しました。その保全計画は、第3期目を迎えております。また、2008年（平成20年）12月には、家庭等からの、正しいゴミの出し方を中心とした指導に当たる「宇治田原町エコ推進委員」が、各区から代表として選出され、現在に至っています。

2006年（平成18年）には、宇治田原町生物研究会として、5人の各分野の調査員が、その活動調査報告として、「宇治田原町の野生生物」を上梓したことは、大きな事業となりました。また、2019年（平成31年）には、平和堂財団の夏原グラント助成金を受け、報告書として「宇治田原町の自然環境」を上梓いたしました。

太陽系第3惑星のこの「地球」を未来に向けて、世界のパートナーとさらに環境保全に努めてゆかねばなりません。SDGsの基本を重きにおき、人類の生活と、多様な生物たちとの共生保全に取り組む必要があります。

「住んで良かったなァ、住んでみないなァ 宇治田原町」の合いコトバに、21年目がスタートいたします。

最後に、この20年間、多種多彩なご意見やご提案を戴きましたなかに、天国へ召された委員さんの哀悼とご冥福をお祈り申し上げます。



武光 八重子（循環型社会・地球温暖化防止部会長）

私は、循環型社会・地球温暖化防止部会の中で、エコ・クッキングを担当しております。エコ・クッキングとは、地球に暮らす私たち一人ひとりが、環境のことをきちんと考えて、「買い物」「料理」「片付け」をすることです。そして、体験を通して、今の暮らしのスタイルを見直すことです。これまで、エコパートナーシップうじたわらの会員でもある緑苑坂在住の藤井トシ子さんにご指導いただきながら、活動しておりました。

私が活動してきたなかで、大事にしているエコ・クッキングのポイントを4つ挙げます。

- 季節の旬の食材、地産地消を意識する。
- 材料をできるだけ無駄なく使う。
- できるだけごみを出さない。
- 効率的に調理することで、エネルギーの消費を抑える。

一物全体が食物であり、普段捨ててしまうようなところにも、栄養があるのです。一人ひとりの取り組みが「個人」としてだけでなく、社会全体の省エネにつながっていきます。

これまでの活動のなかで、たくさんの野菜など食物のエコな活用方法を考えて、実践してきましたので、これから、エコパートナーシップうじたわらの会報誌で、「エコ・クッキングレシピ」として、皆さんに紹介していければと考えています。



濱田プレス工藝(株) 西谷 有由（運営委員）

この度、エコパートナーシップうじたわらが設立20年を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。また、20年という月日は芦原会長をはじめ歴代の会長・運営委員の方々が今日まで御支えになられました賜物であると感じております。平成16年3月に『住民』『事業者』『行政』が一体となり、それぞれの立場で『環境に優しい行動』を指針に『宇治田原環境保全計画』を具体的に推進していく組織として『エコパートナーシップ』が発足されました。私共、濱田プレス工藝もこの宇治田原の地に足を踏み同じく20年が経ちます。地域の方々と共に宇治田原を良くしていく。そのためには住民の皆様や行政関係者の方々と『共生』をテーマに今日まで展開してまいりました。エコパートナーシップはさまざまな事業を展開され、年々変化のスピードが早く・激しい時代の中、宇治田原町にとって何が『今』必要であるのか。また、これから未来に向けて『今』何をしないといけないか。日々、運営委員の方々は考えていただき、また実行していただいております。自然環境豊かな宇治田原町の良いところを知っていただくために町内外の方々を招いての『ハイキング』や『エコクッキング』の実施。宇治田原の『地の歴史』を知ってもための『化石と文化財』の体験教室など、あらゆる知見からのアプローチ方法を常に考えていただいております。これらの事業は、全世代の方々が『体験』から『学び』・『知り』・『考える』そして『自然の大切さ』を『感じてもらう』事が出来ているのではないかと考えております。

また、運営委員の方々を対象に、弊社、濱田プレス工藝(株)にも工場見学に来ていただきました。見学先に選んでいただいたことが何よりも『宇治田原の企業』として認められたと感じ、大変喜んでいたので覚えています。

これから新名神高速道路の開通にともないますます宇治田原町が便利な街になっていきます。この便利さを最大限、自然環境の側面からいかに活用するかが大きな課題であり命題であると考えています。利便性が良くなれば『人』『物』『時間』の流れが大きく変化します。今まででは考えられなかったことも起こると思います。しかし、このエコパートナーシップのテーマである『住民』『事業者』『行政』が三位一体となり取り組んでいけば、あらゆる環境側面をさらに良くしていけるとともに、多様性が求められる今の時代、専門的な知識と総合力を兼ね備えた人材の育成が必要であります。その一環として『エコパートナーシップうじたわら』は、必要不可欠な組織であると思っています。

『身近な存在から世界を学ぶ』

これからも『エコパートナーシップうじたわら』の益々のご発展を心からお祈り申し上げ簡単ではございますが一筆の御礼とさせていただきます。



須河車体㈱ 村林 利高（運営委員）

私は賛助会員企業の担当者の立場で、2020 年から運営委員として携わらせていただいています。一個人としては 1992 年に、その企業に就職したのを機に、大阪市内から南区符作の、会社の寮へ転入し3年ほど宇治田原町民として過ごしました。当初はカエルの鳴き声と、灯りを消すと本当に真っ暗になる事に慣れず、怖くて眠れなかったのを思い出します。

私とエコパートナーシップうじたわらとの最初の出会いは2013 年6月の、阪本先生の解説による田原川でのホタル観察会でした。残念ながら前日の大雨でホタルは流されてしまったようで、ほとんど姿は見られませんでした。ホタルを観察するには、灯りの無いありがたさを感じたひとときでした。

ここ最近では2024 年4月から活動を開始した「うじたわら生物調査隊」の御林山調査に、隊員として参加させていただくようになり、今までは気にも留めなかったような植物や昆虫を毎月追いかけています。これからも、それらお金では買えない、宇治田原町の自然という財産を、次の30年、40年に向け、運営委委員として、また企業は企業活動を通じて、次代に送り届けるお手伝いを続けていきたいと思っています。



宇治田原町工業団地管理組合 羽賀 卓司（運営委員）

平成17年2月19日に開催された環境生物フォーラム「宇治田原町の豊かな自然と野生生物の世界」と題した講演会に行ったのが、エコパートナーシップうじたわらとの出会いでした。

講演自体大変面白く拝聴しておりましたが、それ以上に主催者をはじめ集まっておられた方々の雰囲気がとても良く、こんな集まりも楽しそうだなと漠然と考えていた時、メンバー（事業者）を募集していると知り、入会したのを今もはっきりと覚えております。

それ以来2か月に一度の運営委員会はほぼ欠かさず、また年1度の「自然環境体験ハイキング」も楽しみの一つでした。定年退職後一度離れましたが、またこうして参加ができていることに感謝しております。

次の30周年記念に向けて頑張りましょう。



林 恵子（運営委員）

『田原川のカワセミが見たい!!』

私の意識を大きく変えた、娘からの言葉でした。5年前、中学校1年生になった娘が、『田原川にカワセミがいるんだって!見てみたい!!』、学校から帰るなりそう言いました。映像では見たことがありましたが、“清流の宝石”と呼ばれるその鳥を実際には見たことがありませんでしたし、田原川には頻繁に魚採りに入っていたので、『本当に??』と内心思っていました。しかし、そこから情報収集し、専門家の方にお話を聞きくことで、確かに生息が確認されていることが分かったので、そこからは根競べでした。朝夕田原川に通い、2週間を過ぎた日の夕方、2羽のカワセミを見ることができました。あまりに突然の飛来で、またその美しさにカメラを構えるのも忘れて見つめていました。

そこからは、今までカラスやスズメ、ツバメくらいしか知らなかった私が野鳥図鑑を片手に目を凝らす日々が始まりました。さえずりを聞き、姿を見て、名前を知ること、世界が広がるようなワクワク感があり、それを共有することで家族の一体感が増しました。今では、家族で日本野鳥の会京都府支部に加盟しています。また、前出の娘は、高等学校でもシジュウカラの調査研究を行い、2023年の日本鳥学会で高校生部門のポスター発表を行い、全国の研究者と交流し知見を深めることができました。

『視界には入っているけれど見えていないもの』を見つめることで、世界が大きく広がっていくことを実感し、まだまだ見えていないものがあると、謙虚に環境と向き合いたいと考えています。ヒトの経済活動と自然環境の関わりは、見ている方向によってあり方が変わります。それでも自然環境は変わらず私たちの周りにあります。関わる方法に正解はありませんが、同じ地球に暮らす生物としてヒトとしての役割や環境に及ぼす責任を重く受け止め、日々の暮らしを常に見直しながらか過していきたいと考えています。

10年後、100年後のうじたわらがどうあるか、今の私たちにかかっています。



設立当時を振り返って（会報誌・創刊号）

	発行日 平成17年（2005年）1月14日 (創刊号)
	編集・発行 エコパートナーシップうじたわら 広報部会
	事務局 TEL (88) 6635 FAX (88) 3231

『エコパートナーシップうじたわら』が発足しました

「エコパートナーシップうじたわら」が、去る11月29日に発足しました。この会議は、住民・事業者・行政が、参加・協働（パートナーシップ）により、環境にやさしい行動指針となる「宇治田原町環境保全計画」を推進していく組織です。創刊号では、設立総会の内容、平成16年度事業計画等についてお知らせします。



設立総会開催

宇治田原町総合文化センターで開催された設立総会には、約40名が参加。

設立準備委員代表（＝芦原昇委員）の挨拶、来賓として出席された奥田町長の祝辞と進み、議事にはいりました。

「規約案」「役員案」「平成16年度事業計画案」「平成16年度収支予算案」の4議案が審議され、いずれも原案どおり承認されました。



環境について、みんなで考え、できることから始めませんか

近年、顕在化した地球温暖化問題や、今後の宇治田原町の発展により発生が予想される都市・生活型公害へ早急に対応することが求められています。

これらの問題を解決するためには、住民、事業者、行政が一体となり環境にやさしい行動をとる必要があります。

「エコパートナーシップうじたわら」では、町内景観のモデル箇所の選定、自然観察ファミリーハイキングや生ごみセミナーなど、身近にできることから取り組みを進めます。

環境問題について、みんなで考え、できることから始めませんか。多数のご参加をお待ちしております。

ごあいさつ



阪本会長

今、地球温暖化をはじめとする地球の環境悪化が深刻な問題になっています。こうした環境問題に対処し、よりよい環境づくりをおこなうには、身近でできることから始めることが大切です。

今後は、本会が中心となって「茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原」を実現するため、積極的に環境保全活動に取り組んでいきます。

アメリカ合衆国第16代大統領リンカーンの言葉をお借りするならば、「宇治田原の、住民の、住民による、住民のための環境づくり」を目指していきたく、みなさまのご指導、ご鞭撻（べんたつ）を心からお願い申し上げます。

平成16年度事業計画

環境分野	平成16年度の取組内容
自然環境	○ 守ろう 宇治田原の自然！！ ・ 町内の自然景観の選出 優良箇所（モデル）の選出 ・ 環境教育（研修）の開催 ・ 自然観察ファミリーハイキング開催
循環型社会 地球温暖化防止	○ 生ごみへらし隊^{たい} プロジェクトX ・ 生ごみ処理リサイクルの実験 ・ 生ごみセミナーの開催
全 般	○ 広報事業 ・ 会報誌の発行 ・ 取組内容の啓発活動

生ごみセミナー開催（循環型社会・地球温暖化防止部会）

日 時：平成17年1月22日（土）午後1時30分～午後3時（予定）
 場 所：宇治田原町総合文化センター 第1研修室
 内 容：生ごみ処理機（乾燥型・バイオ式）の業者説明
 会員による生ごみ処理体験結果発表（生ごみ処理機・コンポスト容器等）
 ※ 事前申込み不要、生ごみの減量等に興味のある方の参加をお待ちしております。

エコパートナーシップうじたわら役員

会 長：阪本伊三雄
 副会長：上田明男
 監 事：森田木一
 会 計：須知和彦
 運営委員 前田憲一、並木秀和、安井徳昭、武光八重子、中田博美、播磨余士行、大谷芳亨、
 岩瀬剛二、長屋英幸（（株）アストム）、山下貢（（株）山岡製作所）、白谷吉彦、
 芦原昇、新谷博、谷村富啓（役場）（順不同・敬称略）

入会のご案内

- ◆会員の区分
 - ・ 個人会員＝町民、町内への通勤・通学者、環境に関心のある人
 - ・ 団体会員＝町内で活動する団体及び法人
 - ・ 賛助会員＝本会の趣旨に賛同し、活動を支援する個人・団体及び法人
- ◆会 費
 - ・ 個人会員・団体会員については、無料です。
 - ・ 賛助会員については、活動支援金として年額1口5,000円の会費を募ります。
- ◆入会の方法
 - ・ 入会申込書に必要事項を記入し、事務局に申し込んでください。
- ◆部 会
 - ・ 広報部会・・・会報誌の発行、活動報告書の作成、イベント等の啓発
 - ・ 自然・生活環境部会・・・河川や動植物の学習会、自然観察ファミリーハイキング開催
 - ・ 循環型社会・地球温暖化防止部会・・・生ごみ処理機の普及啓発、環境家計簿の普及等
- ◆お問い合わせ
 エコパートナーシップうじたわら事務局（宇治田原町循環型社会推進室）
 TEL 0774-88-6635 FAX 0774-88-3231

茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原

エコパートナーシップうじたわら規約

(名称)

第1条 この会は、エコパートナーシップうじたわら（以下「本会」という。）と称する。

(目的)

第2条 宇治田原町環境保全計画の進行管理を行うとともに、住民、事業者、行政が一体となり環境保全活動を通じて、地域の自然環境や生活環境の保全、持続可能な社会の実現、地球温暖化の防止に向けて取り組むことを目的とする。

(活動)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 宇治田原町環境保全計画に定める目標の実現に向けた行動計画の立案、および環境保全計画の進行管理
- (2) 前号の行動計画に基づく率先行動の実施
- (3) 環境に関する情報提供及び情報交換
- (4) その他前条の目的を達成するために必要な活動

(会員)

第4条 本会は、第2条の目的に賛同する次の会員により組織する。

- (1) 個人会員 この会の目的に賛同して入会した個人
- (2) 団体会員 この会の目的に賛同して入会した団体
- (3) 賛助会員 この会の事業を賛助するために入会した個人又は団体

(役員)

第5条 本会に、次に掲げる役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名以内
- (3) 監事 1名
- (4) 運営委員 20名以内

(役員を選出)

第6条 会長、副会長、監事は、会員の中から総会において選出する。

2 運営委員は、会員の中から選出する。

(役員任期)

第7条 役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは、補欠役員を置くことができる。この場合における役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員職務)

第8条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

3 運営委員は、運営委員会を構成する。

(会議)

第9条 本会の会議は、総会と運営委員会とする。

2 総会は年1回開催し、運営委員会は必要に応じて開催する。

3 総会及び運営委員会は、会長が招集し、会長がその議長となる。

4 総会は、役員の選出、予算・決算の審議、活動の報告等を行う。

5 総会の議事は、出席者の過半数の同意をもって決する。

6 運営委員会は、総会の決定に基づき、宇治田原町環境保全計画に定める目標の実現に向けた行動計画の立案、環境保全計画の進行管理、環境に関する情報提供・情報交換及びその他の協議を行う。

(部会)

第10条 第3条に定める活動を実施するため、本会に部会を設置することができる。

2 部会の運営に関し必要な事項は、運営委員会において定める。

(会費)

第11条 賛助会員は、1口年額5,000円の会費を負担する。なお、会員が既に納入した会費は、これを返還しない。

(経費)

第12条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

2 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事務局)

第13条 本会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局は、当分の間、宇治田原町役場内に置く。

(その他)

第14条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、会長が運営委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この規約は、平成16年11月29日から施行する。

(経過措置)

2 発足時の役員には、本会の設立準備委員をもって充てる。

3 本会設立当初の役員の任期は、第7条第1項の規定に関わらず、平成18年3月31日までとする。

附 則

(施行期日)

この規約は、平成18年6月17日から施行する。

附 則

(施行期日)

この規約は、平成20年6月21日から施行する。

附 則

(施行期日)

この規約は、平成24年6月24日から施行する。

エコパートナーシップうじたわら 設立 20 周年記念誌

2024 年（令和 6 年）11 月

発 行 者	エコパートナーシップうじたわら 京都府綴喜郡宇治田原町大字立川小字坂口 18-1 宇治田原町役場建設環境課内 TEL 0774-88-6639
発行代表者	会 長 芦 原 昇
印刷・製本	(有)新進堂印刷所

